

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和3年3月5日（金）10時30分～11時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

高松専門職、市森係員

澁谷企画調査官、大辻室長補佐、知見主任安全審査官、伊藤係長、高木技術参与
（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

坂本原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主にD排水路新設工事について以下の説明があった。
 - 経緯・概要
 - ✓ 近年国内で頻発している大規模な降雨に備え、豪雨時における敷地内の施設への影響を把握する為、解析的検討（内水浸水解析、斜面安定解析）を2018年度下期から実施。
 - ✓ 内水浸水解析結果を踏まえ、D排水路新設工事を2021年2月から着手し、2022年度台風シーズン前を目標に、1-4号機建屋周辺の豪雨リスク解消を目指す。
 - 解析的検討の結果
 - ✓ 1000年に一度程度の確率で発生が予想される豪雨の際には、現況通りであれば、1-4号機建屋周辺において数十cm程度の浸水が予想される。
 - ✓ D排水路を新設することで、浸水は概ね解消される見込みであり、解消されない領域については更なる浸水抑制対策を検討している。
 - その他
 - ✓ D排水路の集水エリア内に多核種除去設備処理済水を貯蔵するK2タンクエリアがあるが、漏えい防止及び汚染拡大防止対策（溶接タンク、堰の設置等）も完了しており、汚染水が排水路に流入する可能性は低いと考えている。
 - ✓ D排水路運用に向けたモニタリング方法等についても、今後詳細を検討していく。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、D排水路運用に向けたモニタリング方法等について、内容が固まり次第報告を行い、実施計画への反映を検討することを求めた。

6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2021年2月26日～2021年3月11日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2021年2月26日～2021年3月4日）

➤ 豪雨リスクへの対応状況 D 排水路新設工事について